

神奈川県
議会議員
石川ひろのり

県議会レポート 2019 特別号



石川ひろのり事務所
〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202
TEL 044-455-6611 FAX 044-455-6614

<http://www.hiro-ishikawa.jp/> 石川ひろのり

県議会控室
〒231-8588 横浜市中区日本大通1 神奈川県庁新庁舎9階
TEL 045-210-7620 FAX 045-210-8911

住み続けたい街
麻生区のために

本当に神奈川県は住みやすいのか
あなたの納めた税金を
「生まれて・育って・住んで良かった」
誇りある神奈川に。
今日より明日はきっといいことがある。
住み続けたい神奈川を目指して。

徹底的に
現場主義

県税の使い方を考える取組みについて

石川ひろのり 一般質問に登壇

主な質問

公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES) 補助金について

石川 一昨年、私が常任委員会で補助金の在り方について指摘したIGESについて補助金交付要綱がないなど、補助金交付要綱がないなど、県包括外部監査でも指摘され、知事は「仕切り直ししていく」と陳謝した。施設賃借料の無償貸与期間は2032年まで支援が続く予定となっている。その金額は、1998年から2032年の**35年間で約110億円**にも上る。今後も補助金を今まで通り拠出すると、14年間で約40億円もの補助金が拠出されることとなる。厳しい県財政の中、IGESに対して知事が述べた「仕切り直し」は、**補助金の見直しを含め検討すべき**である。

知事 県ではすでに県の財政状況に応じた補助金の見直しを行っており、今後も本県への貢献が期待される。今は補助金の見直しを行う段階にはないと考え。県としてはIGESが実施する事業の効果や国際的な研究機関として有する知見が県民の皆様に広く還元されるよう気候変動対策をはじめとするSDGSの取組み推進など、IGESとの連携を深めていく。

県内観光客への受益者負担の在り方について

石川 2017年1月「神奈川県観光客受入環境整備協議会」を設置し、2020年までの3年間で短期的に取組む事業の経費を約47億円、中長期的取組む事業を、官民合わせ5年間で188億円と推計している。また、外国人観光客誘致促進事業費や受入環境整備事業費を毎年度予算計上し、今年度も約2億5千万円の予算を計上している。厳しい県財政の中、急増する観光客に対し、宿泊税などの受益者負担を求め、安定した観光財源を確保した上で、県の観光施策を進めるべきと考える。

知事 宿泊税について、県民や市町村、事業者の十分な理解と協力が不可欠であり、丁寧に検討や調整をしていく必要がある。県予算の縮減を図りながら事業を推進するとともに、観光のための財源確保策については「神奈川県観光客受入環境整備協議会」の意見を踏まえ、引き続き検討を行う。

支援を必要とする子ども・家庭のための取組みの格差是正について

石川 支援が必要な子ども・家庭のための取組みにおいて、川崎市をはじめとする政令市とその他の市町村とで取扱いに格差が設けられている。**政令市の市民が県民として他の市町村の住民と同様に県税を納税していることを考慮すると、格差が設けられていることは市民の理解が得られるものではない。**少子化や子どもの貧困対策の必要性が高まる中、「すべての子供、青少年が健やかに成長できるかながわ」の実現に向け、まずは「ひとり親家庭等医療費助成」と「小児医療費助成」の補助率の格差の是正を図るべきと考える。

知事 平成13年度から県と政令市を含めた市町村



と検討組織を立ち上げ協議を行った結果、平成15年度から県の補助制度の対象年齢を引き上げる一方、政令市の補助率を1/4に、その他の市町村の補助率を1/3に下げることと合意した。この経過を経たものであり、現行の制度を維持していくことが重要と考える。

石川 川崎市からは格差是正について「県に対する平成19年度予算要望」以降、毎年度継続して要望が出されている。今回「ひとり親家庭等医療費助成」を取り上げ、政令市のこの**補助金格差是正を見直す**と**3.9億円の補助金増となる。しかし、IGESへの補助金見直しや観光客に受入れ環境整備するための受益者負担をお願いすれば捻出できる**と私は考える。この県単独補助金の格差是正について、担当者間の協議では平行線となり、議論が深まらないとの話もある。ぜひ、知事には思い切った決断のもと、子育て環境を推し進める神奈川のリーダーシップを発揮して頂きたい。改めて伺う。政令市への県単独補助金の格差是正の検討をしていただきたい。

知事 IGESについては、今後さらに連携を深めていく。新たな受益者負担として宿泊税については協議会からのご意見を踏まえつつ引き続き検討していく。その上で、「ひとり親家庭等医療助成」や「小児医療費助成」の補助率については県と政令市とを含めた市町村との調整・協議を行い合意したということとを踏まえたもので適切な財務配分を行っている。

石川 知事は提案説明で「県民生活に密着した施策にしっかりと対応し、神奈川の未来社会の創造につながる施策にも積極的に取組む予算編成とした」とされている。私もこの考え方には同感である。知事は、素晴らしい発信力を持っている。その発信力を、少子化や子どもの貧困対策の必要性が高まる中で、子ども・子育て支援にも発揮して頂きたい。**今後も県税の使い方についてしっかりと指摘していく。**

県単独補助事業における補助率の格差

名 称	現在の補助率	当初補助率
ひとり親家庭等医療費 助成事業費補助金	指定都市 1/3 一 般 市 1/2	1/2
小児医療費 助成事業補助金	指定都市 1/4 一 般 市 1/3	1/2
重度障害者医療費 給付補助事業補助金	指定都市 1/3 一 般 市 1/2	100%
外国籍県民高齢者・ 障害者等福祉給付金 助成事業補助金	指定都市 対象外 一 般 市 1/2	指定都市 対象外 一 般 市 1/2



これからの子育て・
若者支援の取組みについて

高卒就職支援の取組みについて

石川 高卒就職の離職率は、専門学校卒や大卒と比較し非常に高いことが指摘されている。ヒアリングを行ったスクールキャリアカウンセラー（SCC）を配置する「県立田奈高校」では、100名前後の高卒就職希望者に対して1,500件を超える多くの求人があり、就職を希望する生徒とのマッチングを時間をかけ丁寧にやっている。しかし、週29時間の制限などがある現在のSCC制度では、生徒と企業のマッチングをサポートしきれない現状があり、現在はSCCの方の責任感に大きく頼っている。高校生の就職活動は、就職活動に追われ学校生活に支障が出ないよう「一人一社しか応募ができない一人一社制」のルールが定められている。このルールのもと、就職活動が長期にわたることを懸念し、マッチングよりも、早く就職先を決めることを優先してしまう傾向がある。静岡県では、地元商工会と連携し、早い段階で企業理解や地域企業とのマッチングを図る企業ガイダンスが行われている。**SCC制度の改善**と社会の就職活動環境の変化に対応した、**生徒への新たな企業理解の促進、就職に向けた情報や機会の提供が必要**と考える。

教育長 一部の高校で、企業担当者を招いた企業説明会を開催する取組みを行っている。今後、この取組みを県全体に周知し、企業情報をしっかりと把握して就職先を選択できるように、そして、より多くの生徒が企業説明会の機会を経て、自分に適した企業の選択が進むよう取り組む。また、SCC制度については、教員とSCCの適切な役割分担と連携強化が必要である。今後、生徒の就職支援に効果的な役割分担の在り方を検討し、SCCの配置時間数を検討していく。

他、県知事に「病児・病後保育、休日保育の環境整備に向けた取組みについて」教育長に「県内の次世代の担い手をつなぐ専門高校の取組みについて」質問しました。
詳しい質問内容はホームページをご覧ください。

徹底的に
現場主義

活動報告

「消えかけた横断歩道の引き直し完了」のご報告

本年1月、町内会の方や付近の小学校に通う保護者の方からご要望がありました「万福寺町内会館付近」の消えかけた横断歩道の引き直しについて、5月の10連休明けに「引き直し終了」の報告があり現地確認を行いました。小学校の登下校道路にもなる交差点もあり、子どもたちや地域の方が安心して通行できるよう所轄警察と連携を取りながら進めました。今後も、街の安心・安全の取組みを地域の皆さまと一緒に進めて参ります。



▶「県立高校 入学式」に出席

4月、「県立麻生高校」「県立麻生総合高校」の入学式に出席。今年も両高校には、希望に満ちた生徒の皆さんが入学をされました。新入生の皆さん、保護者の皆さんおめでとうございます。本年度から、県内私立高校の授業料無償化が始まった中、県立高校の在り方が注目をされる年でもあります。子どもたちが安心して学び、将来に希望が持てる教育環境づくりに今後も尽力して参ります。



▶くじらの森「森もりフェスタ」開催

4月、麻生区向原地域の「くじらの森」で行われた「森もりフェスタ」に伺いました。会場には、多くの子どもたちや家族が参加され、竹ぼうき作りやキノコ栽培の原木づくり(写真)など自然との触れ合いを楽しんでいました。近年、麻生区内も都市化が進み緑地が減りつつあります。この緑豊かな麻生区の自然を将来に引き継げるよう、私も提言して参ります。



▶「第9回しんゆりフェスティバル・グランマルシェ」開催

5月、新百合ヶ丘駅周辺で開催された「第9回しんゆりフェスティバル・グランマルシェ」に伺いました。今回は会場を拡大し、「肉グルメフェス」や防災を絡めた「アウトドア体験」などが開催され、各会場では多くの方がイベントを楽しんでいました。すっかり街に定着したイベントになった「しんゆりフェスティバル」。次回は9月に開催予定です。今後も麻生区の情報発信イベントとして応援して参ります。



▶県立田奈高校にて現場視察

5月、県立田奈高校にて、高卒就職を希望する生徒に対しての「就職支援」について現場視察を行いました。この高校では、生徒の就職支援を行うスクールキャリアカウンセラー(SCC)が配置され、教員と一緒に生徒の進路支援を行っています。就職支援にあたって、個々の特性を生かし伸ばしていくことのできる仕事や職場を探す手助けを行い、多種多様な就職先へ毎年



県政報告(タウンニュース掲載)

2019年5月24日



石川ひろのり
1968年11月3日生まれ／横浜市出身／サラリーマンを約20年経験／参議院議員政策秘書、衆議院議員 笠ひろふみ秘書など経験／麻生区在住

民主フォーラム
県政報告vol.24

「県立高校改革」「いじめ問題」など 『文教常任委員会』に所属決定

神奈川県議会議員 石川ひろのり

4月30日、神奈川県議会議員として2期目がスタートしました。県議会では、県立高校や生涯学習、文化財などの審査を行う「文教常任委員会」、交通安全対策や災害に強いまちづくりについて審議する「社会問題・安全安心推進特別委員会」へ所属が決定しました。公表しています。高校の

○生徒のための高校改革を
教育環境は今、私立高校授業料の無償化、大学入試センター試験の廃止、部活動の在り方など、大きな転換点を迎えています。県は今後の県立高校の再編統合も含めた「県立高校改革基本計画」を公表しています。高校の

○県内交通事故は20分に1件
平成30年度、県内では平均20分に1件事故が発生しています。高齢ドライバーによるアクセルとブレーキの踏み間違い事

故といった報道がある中、社会問題・安全安心推進特別委員会にて、街づくりでの安全対策について質疑を重ねて参ります。

○徹底的に現場主義
私の質問の根本は「地域・現場の声」です。頂いたご意見・ご要望を政治の場に届け、皆さまと同じ視点で質疑し、街頭活動や県政報告等を通じてしっかりと報告いたします。ぜひ皆さまのご意見・要望をお寄せ下さい。

石川ひろのり事務所
県政へのご意見・ご要望はこちらまで
麻生区百合丘1-5-4
米山ビル202
☎044-455-6611
FAX 044-455-6614
http://www.hiro-ishikawa.jp

「県立高校改革」「いじめ問題」など
『文教常任委員会』に所属決定

送り出しています。又、この取組みが評価され、神奈川県知事表彰、文部科学大臣表彰を受賞されています。今回の視察をもとに、一般質問で質疑を行いました。(表面参照)

▶『令和元年度麻生消防団ポンプ操法大会』に出席

6月、麻生水処理センターで開催された「令和元年度麻生消防団ポンプ操法大会」に出席。天候にも恵まれ、区内3分団12班による消防団員の方々が、日ごろの「消火に必要な基本動作」「迅速性やチームワーク」「正確性」などを競い合い、訓練の成果を発揮されました。団員の皆さまは仕事を持ちながら日々訓練を繰り返し、地域の活動にご尽力されています。最近、大きな地震が続いています。普段から火災・災害に対し各家庭で備えておくことが大事ですが、消防団の皆さんの活動が地域の安心感につながっています。これからも消防団の皆さんが活動しやすい環境を整備し、訓練や防火活動に注力していただけるよう私も尽力していきます。



石川ひろのり プロフィール
1968年11月3日生まれ 横浜市出身。旅行会社、飲食業を約20年間経験。「行政とはサービス業である」との言葉に感銘を受け、37歳で衆議院議員岩國哲人事務所へ転職。その後、参議院議員公設秘書を経て、政策秘書資格を取得し参議院議員政策秘書を務める。衆議院議員 笠ひろふみ秘書、民主党第9区総支部麻生区政策委員長・広報委員長を経て、2015年4月神奈川県議会議員に初当選。2019年4月22,811票の付託を頂き2期目の当選。麻生区在住。引きこもり支援相談士。趣味：ジョギング(湘南国際マラソン大会5年連続出場。自己ベスト記録 3時間29分28秒) 家族：妻、子供一人 好きな言葉：「石の上にも3年」 初めて社会人になる時に父親から言われ「どんなに苦しくても耐えること。そこで初めて全体が見える」という言葉を今でも忘れない。

石川ひろのりの活動報告・委員会質問など詳しくはHPまたはFacebookにてご覧いただけます。  **石川ひろのり** 

ボランティアスタッフ募集 石川ひろのり事務所では随時ボランティアスタッフを募集しています。広告用チラシ折り、ポスター掲示、街頭演説のお手伝いなど短時間でもかまいません。皆様のご支援とご協力をお待ちしています。▶連絡先：TEL 044-455-6611

石川ひろのりの活動へのご支援(個人献金)のお願い 石川ひろのりの活動にご協力賜りたくご案内させていただきます。なお、寄付は税額控除の対象となりますので、ご相談ください。ようお願い申し上げます。▶石川裕憲後援会 【郵便局】払込取扱票にて(口座番号 00200-7-52777) 【銀行】三井住友銀行 新百合ヶ丘支店 普通 口座番号 6902358

石川ひろのりへの ご意見・ご質問をお待ちしております。 FAX 044-455-6614	ご意見など	お名前	TEL
		ご住所	